

---

# 仕 様 書

---

型式 CLCN2SW-10  
品名 煤除去装置

**CLIE**株式会社クリエ

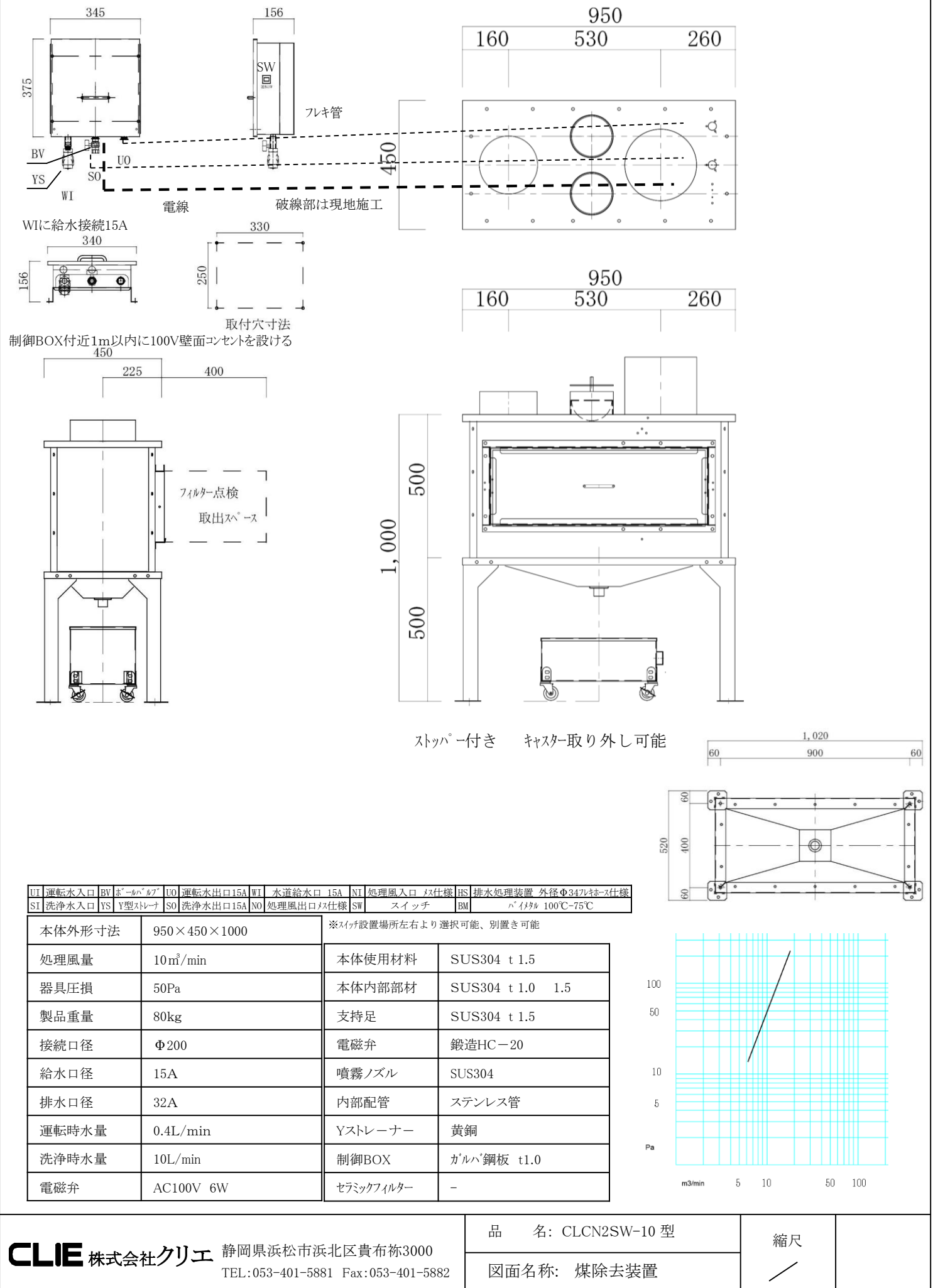
本社：〒431-2102静岡県浜松市浜北区貴布祢3000

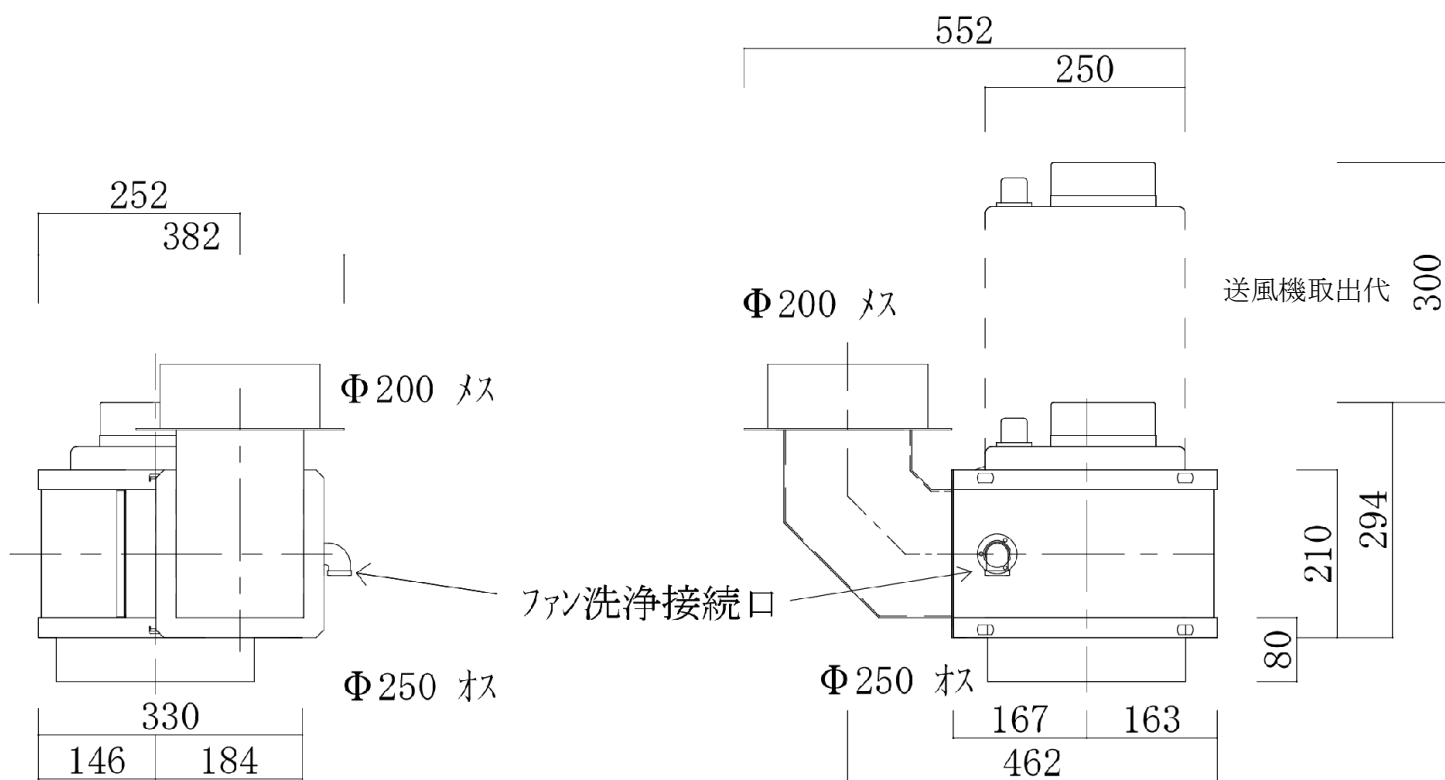
TEL:053-401-5881 Fax:053-401-5882

工場：〒932-0836富山県小矢部市埴生2793

TEL:0766-67-4898 Fax:0766-67-4988





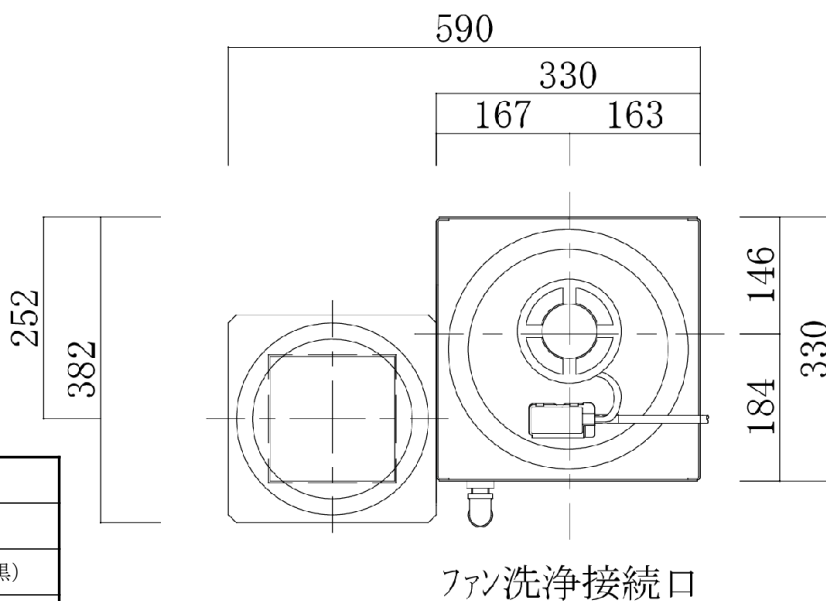


特性表

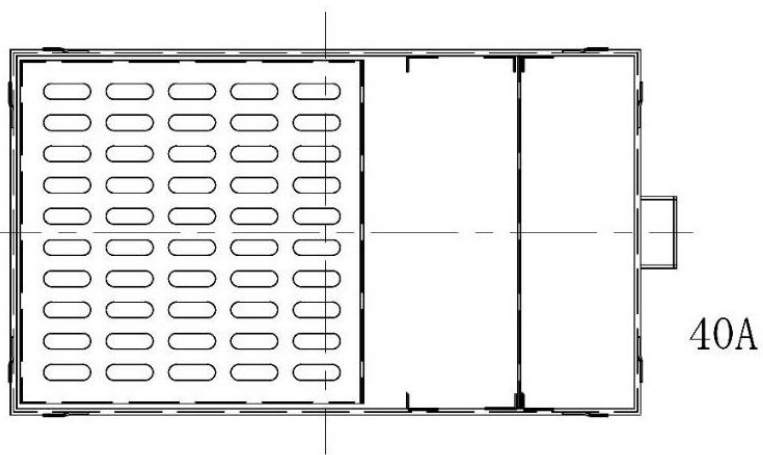
	50 Hz	60 Hz
静圧	0 Pa	50 Pa
風量	1548 m³/h	1650 m³/h
電流	3.1A	3.9A
消費電力	290W	400W
騒音(側面)	56.5dB	58dB
最大負荷電流	3.1A	4.2A
起動電流	10.5A	9.8A

仕様表

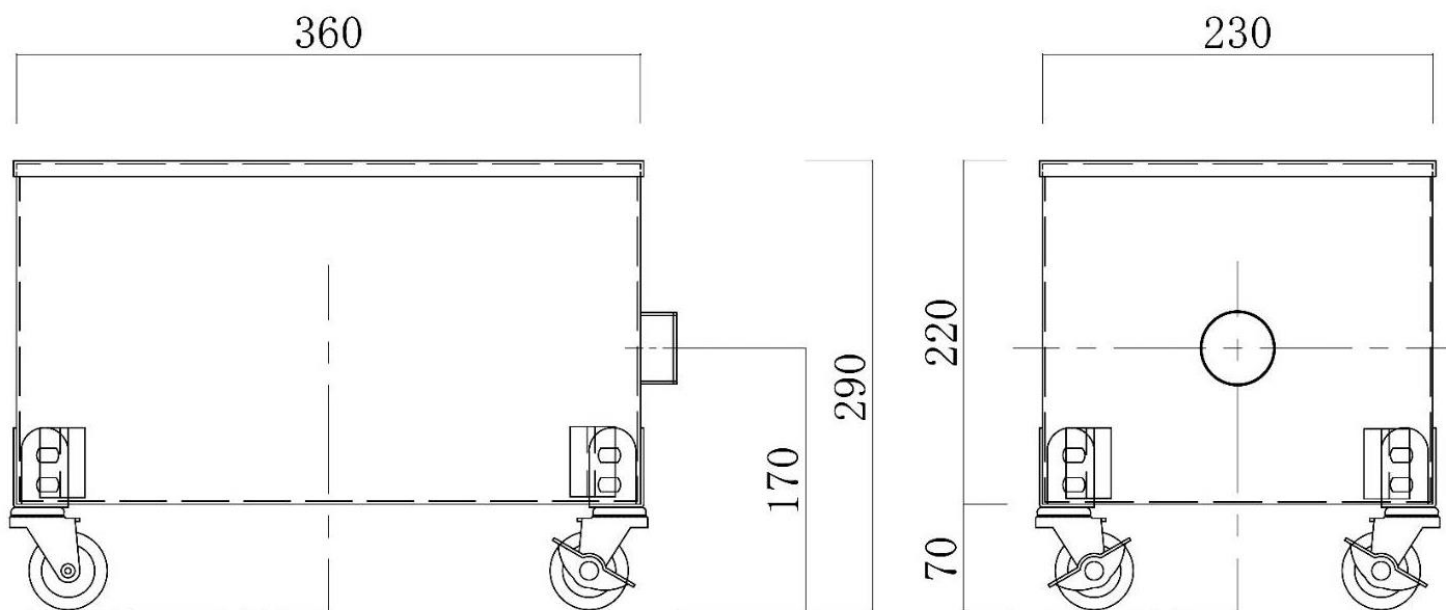
本体外形寸法	330×330×294
本体外径寸法(最大値)	382×590×594
本体仕上げ(ケーシング)	耐熱耐食塗装仕上げ(黒)
内部配管材質	SUS304
洗浄給水口径	15A
洗浄水・湯量	4.0L/min
洗浄ノズル	SUS303
電 源	単相 100V コンセント仕様
公称出力	300W
製品重量	16kg



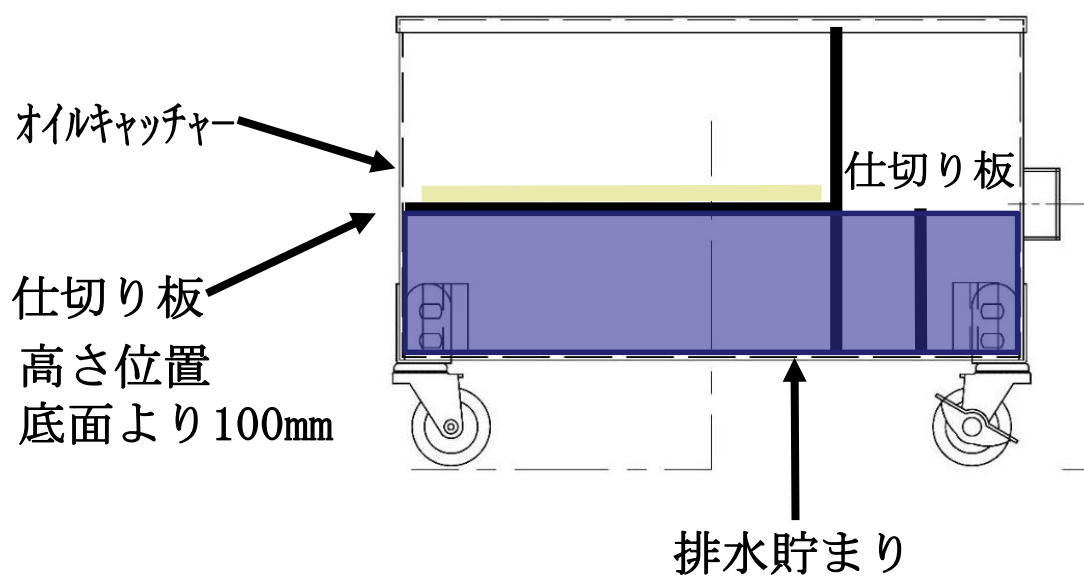
型式 BF-21S



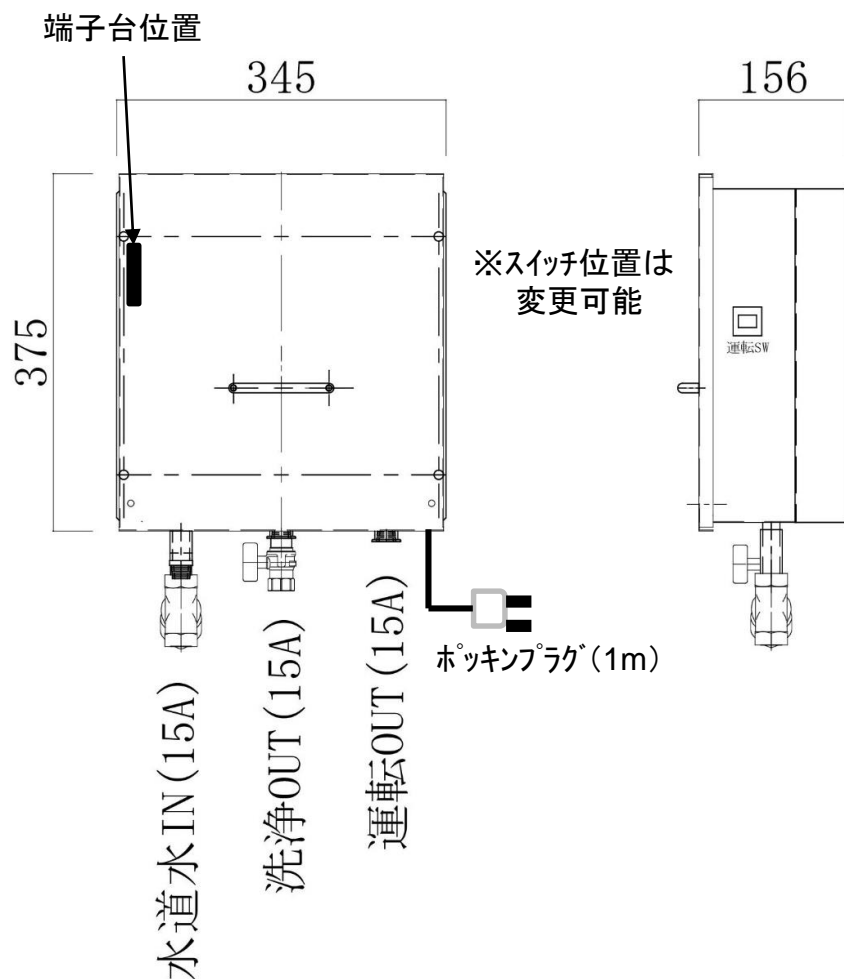
本体外形寸法	360×290×230
排水接続	40A
材質	SUS 304 t1.5
製品重量	5.2kg
標準付属品	排水フレキホース 1m
	オイルキャッチャー 5枚



※キャスター脱着可能  
※ストッパー付き



## 制御BOX

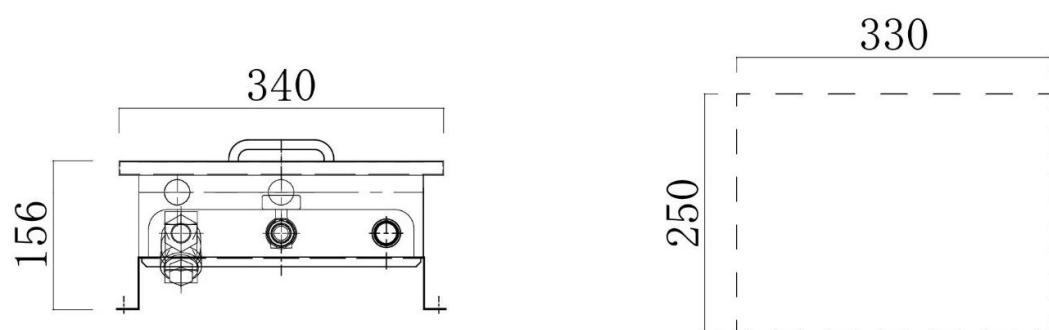


本体外形寸法	345×375×156
本体使用材質	ガルバ鋼板 t1.0
内部配管材質	ステンレス管
給水接続口径	15A
運転給水口径	15A
洗浄給水口径	15A
本体電源	100Vコンセント仕様 (1m)
電磁弁	AC100V 6W
製品重量	5.0Kg

※取付位置1m以内にコンセントを設ける

※異常高温時作動信号  
 ※運転管理信号  
 ※洗浄作動信号  
 ※外部ファンによる機械の連動  
 ※スイッチの別置き  
 ※電気信号は、その都度ご指示ください。

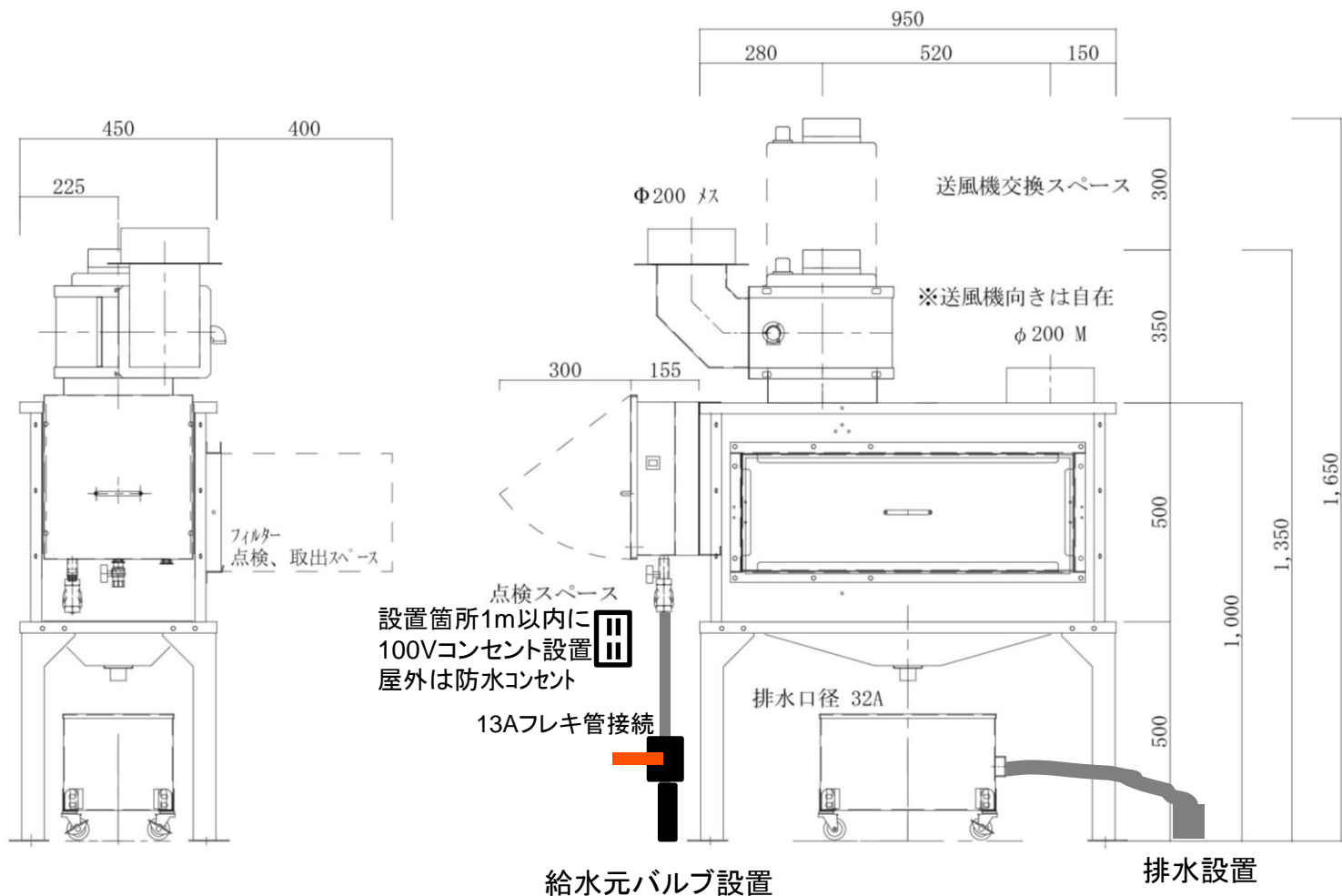
※仕様により制御BOXのサイズが変更となる場合がございます。



取付穴寸法

型式 CLC1S

# 設置図例



# 耐震強度計算書(アンカーボルト)

建築設備耐震設計・施工指針2014年版による

1. 機種 = 煤除去装置

2. 形名 = CLC1S

## 3. 機器緒元

(1)①機器質量:M  $M = 80 \text{ kg}$

②機器重量:W  $W = M \times 10/1000 = 0.80 \text{ kN}$

(2)アンカーボルト

①総本数:N  $N = 4 \text{ 本}$

②ボルト径:d(呼称)  $10 \text{ M}$

③一本あたりの軸断面積(呼径による断面積)  $A = 0.785 \text{ cm}^2$

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数

$N_t = 2 \text{ 本}$

(3)据え付け面より機器重心までの高さ  $h_G = 97 \text{ cm}$

(4)長辺重心位置  $LG(\text{長辺}) = 47.5 \text{ cm}$

(5)短辺重心位置  $LG(\text{短辺}) = 22.5 \text{ cm}$

(6)ボルトスパン  $L(\text{長辺}) = 95 \text{ cm}$

(7)ボルトスパン  $L(\text{短辺}) = 45 \text{ cm}$

## 4. 検討計算(各項を四捨五入して算出)

(1)設計用水平震度:KH  $KH = 1.5$

(2)設計用水平地震力:FH  $FH = KH \times W = 1.2 \text{ kN}$

(3)設計用鉛直地震力:FV  $FV = 1/2 \times FH = 0.6 \text{ kN}$

(4)長辺方向アンカーボルトの1本当たりの引き抜き力:Rb

$R_b = \{FH \cdot h_G - (W - FV) \cdot LG\} / \{L \cdot N_t\} = 0.38 \text{ kN}$

$0.38 \text{ kN} < 3.8 \text{ kN}$  (選択したアンカーボルトによる許容引き抜き加重)  
従って 可

(5)短辺方向アンカーボルトの1本当たりの引き抜き力:Rb

$R_b = \{FH \cdot h_G - (W - FV) \cdot LG\} / \{L \cdot N_t\} = 1.24 \text{ kN}$

$0.85 \text{ kN} < 3.8 \text{ kN}$  (選択したアンカーボルトによる許容引き抜き加重)  
従って 可

(6)アンカーボルトの1本当たりに作用するせん断力: $\tau$

$\tau = FH / N \cdot A = 0.41 \text{ kN}$

$0.39 \text{ kN/cm}^2 < 4.4 \text{ kN/cm}^2$   
従って 可

以上の計算より、アンカーボルトは十分な強度を有する。